



患者の安全は名前確認から 名乗りを安全文化にしよう

12月 医療介護 安全推進月間

チームで取り組む 医療介護の安全

患者さん・利用者さん
と一緒にできること

「お金がないから…」
と受診をあきらめて
いませんか？

同仁会では「無料低額診療」を
実施しています。

医療費でお困りの方は
各事業所窓口
お問い合わせ
ください。



名前の確認をお願いします

診察の時に



お名前は？

検査の時に

予約表を受け とるときに



お名前は？

薬を受け取るときに



お名前は？

医療・介護の安全に患者・家族の参加は不可欠です。このことは医療安全全国共同行動の行動目標にも取り上げられています。その理由は、患者、利用者、そのご家族が医療・介護に関わることで、医療従事者とは別の視点、もう

一組の眼、を得られることで、危険や違和感に気づきやすいということです。医療・介護のいろいろな場面で患者、利用者、ご家族もチームの一員として、医療者とは別の視点でしっかりとみていただきたいと思います。

どんなに有効な治療や適切な検査を行っても、患者さん・利用者さんを間違えると、適切な診療が提供できません。場合によっては重大な被害を受ける可能性もあります。同仁会では、毎年12月を医療介護安全推進月間として活動しています。今年も、医療介護安全大会のテーマを『チームで取り組む医療介護の安全 ～患者さん・利用者さんと一緒にできること～』の実践として、「名乗りを安全文化にしよう」と呼びかけ、友の会会員さんと共に取り組めます。

「医療安全全国共同行動」では、医療安全上の対策として有効性が明らかであるにもかかわらず、今なお診療の現場では必ずしも推奨通りに実行されてこなかったもののうち、特に緊急度と重要度の高い課題を「行動目標」として取り上げていきます。

まず、ご自身の名前を名乗る・確認することから、ご協力をお願いします。

「医師が患者を間違っはるがな」「看護師が持ってきた薬だから間違っているはずがない」ではなく、間違えない努力は行っていますが、人は誰でもまちがえることを理解していただきたいのです。難しいことですが、もう一組の眼、で見つけた「危険や間違い」「大丈夫かな？」という「気づき」を医療従事者（医師や看護師、薬剤師など病院や診療所の職員）に伝えたいです。そして、「診察に呼ばれたのは私で間違いなんでしょうか？」、「○○ちゃん」その薬の袋には私の名前が書いてありますか？見せてください」ということですね。

こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

産産
陣痛の緩和や促進、股関節や骨盤の周囲の

心身不調の改善
血行が良くなり肩こりや腰痛の解消につながり内臓の働きを高める。集中とリラックスが自律神経のバランスを整えリラックス効果を得られる

柔軟化
お産時期の近い人と仲良くなれる

参加された妊婦さんから、
「呼吸法やリラックス法などを学ぶことで不安が減り気持ちが楽になった」「出産の緊張で身体がガチガチになっていたが、身体が柔らかくなり気分転換になりました」などの感想が寄せられています。

当初は、少ない参加でしたが、ポスター掲示や待合での動画上映、許可が出た方への声かけにより、多くの方に知っていただけるようになり、毎回数十人が参加されています。（産婦人科外来）

また、病棟助産師は「ヨガを行っている妊婦さんは落ち着いてお産にのぞめている」「呼吸法を上手におこなえて、いきみ方が上手」という感想を持っています。

参加された妊婦さんから、

耳原総合病院 産婦人科外来



マタニティヨガをご存知ですか？

2017年1月から、毎週火曜日（みみはらホール）で開催しています。対象は、胎動を感じるようになり、妊娠24週以降で経過が良好な妊婦さんです。健康運動指導士、日本マタニティピクス協会公認インストラクターを迎えて行っています。

2017年1月から、毎週火曜日（みみはらホール）で開催しています。対象は、胎動を感じるようになり、妊娠24週以降で経過が良好な妊婦さんです。健康運動指導士、日本マタニティピクス協会公認インストラクターを迎えて行っています。

〒590-8505
堺市堺区協和町4-465
TEL 072-241-0501(代)
FAX 072-244-3577